

平成24年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 アルファクス・フード・システム
 コード番号 3814 URL <http://www.afs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田村 隆盛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長

(氏名) 河原 克樹

TEL 0836-39-5151

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第3四半期の業績(平成23年10月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第3四半期	1,298	△24.8	△54	—	△64	—	△50	—
23年9月期第3四半期	1,725	48.1	△15	—	△26	—	△20	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第3四半期	△2,286.50	—
23年9月期第3四半期	△873.55	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第3四半期	1,741	—	687	—	—	39.5
23年9月期	1,996	—	831	—	—	41.7

(参考) 自己資本 24年9月期第3四半期 687百万円 23年9月期 831百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	750.00	750.00
24年9月期	—	0.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	750.00	750.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,100	△13.9	60	117.2	45	234.2	22	900.2	977.56

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年9月期3Q	25,087 株	23年9月期	24,991 株
② 期末自己株式数	24年9月期3Q	3,315 株	23年9月期	2,312 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年9月期3Q	21,968 株	23年9月期3Q	23,078 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) セグメント情報等	8
(7) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興景気等により緩やかながら回復感もみられたものの、長引く欧州における債務問題、電力問題及び円高の長期化等により依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社の主要販売先である外食産業におきましては、引き続き消費者の節約志向を背景とした低価格化及び顧客獲得に関する競争は激しさを増しており、当社の事業領域において厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、ASPサービス事業におきましては、新規受注の獲得等回復の傾向がみられるものの月額利用料の本格的な回復には至りませんでした。また、システム機器事業におきましては、既存店舗への機器入れ替えが一巡したことに伴う売上の減少がありました。ASPサービス及びシステム機器事業のシステム機器設置及び新規受注等が下半期後半に予定されているため、当第3四半期累計期間の売上高は1,298,619千円（前年同四半期比24.8%減）となりました。利益面に関しましては、ASPサービス事業における月額利用料の減収及びシステム機器事業における売上減少と一部の機器の価格下落により、営業損失54,481千円（前年同四半期は営業損失15,712千円）、経常損失64,602千円（前年同四半期は経常損失26,124千円）、四半期純損失50,229千円（前年同四半期は四半期純損失20,159千円）となりました。

事業部門別の業績は、以下のとおりであります。

当社は、ASPサービス事業を単一セグメントとしておりますが、ASPサービス事業を核として、顧客である飲食店舗にASPサービス事業、システム機器事業、周辺サービス事業を一体として提供しております。

① ASPサービス事業

当事業におきましては、月額サービスの新規顧客獲得及び既存顧客へのサービス拡大に注力いたしましたが、新規受注による月額利用料の増額は下半期後半以降となる計画のため、売上高は735,756千円（前年同四半期比1.5%増）となり、月額利用料も9ヶ月累計で648,449千円（前年同四半期比2.9%減）と推移しました。

② システム機器事業

当事業におきましては、既存店舗への機器入れ替えが一巡したこと及び一部の機器に価格の下落が生じた結果、売上高は334,857千円（前年同四半期比58.5%減）となりました。

③ 周辺サービス事業

当事業におきましては、サプライ品、機器修理及び他社商品の販売等を行った結果、売上高は228,005千円（前年同四半期比17.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は、1,741,191千円となり、前事業年度末に比べ255,305千円減少いたしました。主な増減は、流動資産では、現金及び預金が150,454千円減少いたしました。固定資産においては、建設仮勘定71,718千円及び長期未収入金29,060千円の減少がありました。また、流動負債では、支払手形及び買掛金74,768千円の減少がありました。純資産につきましては、687,378千円となり、144,613千円減少いたしました。主なものは自己株式の取得79,237千円によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動及び投資活動、財務活動によるキャッシュ・フローにより使用した資金により前事業年度末に比べ131,154千円減少し、当第3四半期会計期間末には513,716千円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期累計期間において営業活動の結果使用した資金は776千円（前年同四半期は得られた資金163,758千円）となりました。これは主に、税引前四半期純損失66,606千円の計上があったものの、減価償却費74,224千円の計上及び売上債権138,681千円の減少があった一方で、たな卸資産77,948千円の増加、仕入債務74,768千円の減少による資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は6,246千円（前年同四半期は使用した資金110,067千円）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6,879千円及び敷金及び保証金の差入による支出7,652千円による資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は124,130千円(前年同四半期は得られた資金104,344千円)となりました。これは主に、自己株式の取得による支出79,237千円による資金の減少によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当社主要顧客である外食産業を取り巻く環境は、原材料価格の高騰やお客様の節約志向を背景とした低価格化により厳しい状況が続くものと予想されます。このような状況を踏まえ、平成24年5月2日付の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	685,171	534,716
受取手形及び売掛金	288,997	163,361
商品	388,030	450,343
その他	48,956	80,875
貸倒引当金	△6,359	△3,623
流動資産合計	1,404,795	1,225,674
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	9,455	10,352
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	164,763	201,523
土地	20,429	20,429
建設仮勘定	84,591	12,873
有形固定資産合計	279,238	245,178
無形固定資産		
ソフトウェア	63,163	38,573
その他	2,445	2,445
無形固定資産合計	65,609	41,018
投資その他の資産		
出資金	136	139
長期前払費用	103,337	106,147
繰延税金資産	34,145	32,402
長期未収入金	123,455	94,394
その他	17,659	27,388
貸倒引当金	△38,040	△36,038
投資その他の資産合計	240,694	224,434
固定資産合計	585,542	510,631
繰延資産		
社債発行費	6,159	4,885
繰延資産合計	6,159	4,885
資産合計	1,996,497	1,741,191

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	148,977	74,209
短期借入金	549,000	549,000
1年内償還予定の社債	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	—	100,000
未払法人税等	15,080	1,205
引当金	16,567	3,658
その他	91,993	109,831
流動負債合計	881,618	897,905
固定負債		
社債	170,000	140,000
長期借入金	100,000	—
引当金	12,886	15,907
固定負債合計	282,886	155,907
負債合計	1,164,505	1,053,812
純資産の部		
株主資本		
資本金	535,020	536,876
資本剰余金	143,599	143,599
利益剰余金	322,445	255,206
自己株式	△169,002	△248,239
株主資本合計	832,062	687,442
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△70	△63
評価・換算差額等合計	△70	△63
純資産合計	831,991	687,378
負債純資産合計	1,996,497	1,741,191

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
売上高	1,725,896	1,298,619
売上原価	1,329,384	938,397
売上総利益	396,511	360,222
販売費及び一般管理費	412,224	414,704
営業損失(△)	△15,712	△54,481
営業外収益		
受取利息	59	128
受取配当金	17	19
雑収入	759	575
営業外収益合計	836	723
営業外費用		
支払利息	6,420	6,308
社債利息	1,271	—
支払保証料	1,883	1,811
その他	1,673	2,723
営業外費用合計	11,248	10,843
経常損失(△)	△26,124	△64,602
特別利益		
貸倒引当金戻入額	867	—
特別利益合計	867	—
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	2,004
その他	5	—
特別損失合計	5	2,004
税引前四半期純損失(△)	△25,262	△66,606
法人税、住民税及び事業税	1,302	1,181
法人税等調整額	△6,405	△17,557
法人税等合計	△5,102	△16,376
四半期純損失(△)	△20,159	△50,229

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成22年10月1日 至 平成23年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△25,262	△66,606
減価償却費	74,070	74,224
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△867	2,004
賞与引当金の増減額(△は減少)	△9,830	△12,909
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,566	3,020
受取利息及び受取配当金	△59	△148
支払利息	9,575	9,569
売上債権の増減額(△は増加)	30,256	138,681
たな卸資産の増減額(△は増加)	69,460	△77,948
仕入債務の増減額(△は減少)	98,050	△74,768
その他の流動資産の増減額(△は増加)	4,997	△1,572
その他の流動負債の増減額(△は減少)	29,215	25,565
その他	51	1,608
小計	282,222	20,721
利息及び配当金の受取額	59	148
利息の支払額	△8,893	△7,877
株式給付信託への拠出額	△100,000	—
法人税等の支払額	△9,628	△13,769
営業活動によるキャッシュ・フロー	163,758	△776
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△90,269	△6,879
無形固定資産の取得による支出	△10,000	△5,000
定期預金の預入による支出	△6,300	△5,900
定期預金の払戻による収入	—	25,200
敷金及び保証金の差入による支出	△6,014	△7,652
敷金及び保証金の回収による収入	2,509	2,180
その他	7	△8,195
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110,067	△6,246
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,202,000	1,242,000
短期借入金の返済による支出	△1,122,000	△1,242,000
社債の発行による収入	98,940	—
社債の償還による支出	△20,000	△30,000
株式の発行による収入	—	1,856
自己株式の取得による支出	△36,887	△79,237
配当金の支払額	△17,708	△16,749
財務活動によるキャッシュ・フロー	104,344	△124,130
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	158,036	△131,154
現金及び現金同等物の期首残高	460,077	644,871
現金及び現金同等物の四半期末残高	618,113	513,716

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

自己株式の取得

当社は、第1四半期会計期間において、平成23年12月15日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を1,003株（総額79,237千円）取得いたしました。この結果、当第3四半期会計期間末における自己株式は3,315株（総額248,239千円）となっております。

(6) セグメント情報等

当社は、ASPサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。